



た ま し ょ う

こ
玉小っ子

<http://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-e/>

令和5年度 玉村小学校
学校だより 第6号
2023年6月22日発行

梅雨入りして、じめじめとした日が続きます。でも、梅雨の晴れ間をねらってプールに入っています。水温も上がってきたので、多少曇っていても規準がクリアできるので、今週はどの学年も楽しくプールに入れています。

5, 6年生の放課後の水泳練習も始まりました。佐波郡の水泳記録会にエントリーする「選手コース」と、自分の泳力を向上させたい「チャレンジコース」があります。たくさんの子供が参加しています。放課後のわずかな時間で期間も短いですが、目標に向かって頑張ればと思います。また、たくさんの先生も協力してくれています。感謝の気持ちも持ちながら、取り組んでいってください。

学び合いは玉小の伝統 ～6月の全校朝礼～

今年度は玉小の創立から150年目を迎えるので、玉小の昔のことを知ってもらう機会を作っています。5月の全校朝礼は開校当時の人数や状況、人数が多かった時の様子などを話しました。今回は「玉小のむかしシリーズ2」です。テーマは「まるいつくえのひみつ」です。

玉小の地域交流スペースや談話室には木製の古い丸い机があります。これは、100年ぐらい前(大正時代末期)に実際に使われていた机です。当時の学校は、先生が子どもに一方的に教え、知識を身に付けさせる授業が主流でした。しかし、大正時代に入ると、大正デモクラシーと呼ばれる自由や権利を重んじる風潮が生まれ、「大正自由教育」という子どもを中心とした自由で生き生きとした教育が生まれてきました。玉小では、先生たちが自由教育を行っている先進校を視察し、いち早く取り入れたようです。この机を見ていると、子どもたちがこの丸い机を使って、受け身ではなく、主体的に考えを交流させながら学び合う姿が想像できます。

「主体的、対話的で深い学び」が今の教育のキーワードになっています。玉小でもそのような学習ができるように先生たちも研修をして実践できるように努力しています。玉小では100年前に、今の教育で求められていることを実践していたとは驚きです。子どもたちが教室で生き生きと発言したり、友達同士話し合ったりしている姿を見ると「学び合い」の伝統はしっかり受け継がれている、と感じます。

創立150周年記念企画として6月19日(月)に記念写真を撮りました。飛行機が11時19分に上空にくるといので、その時間に合わせて人文字を作りました。クラスごとに分担を決めて場所にならび、色画用紙を持って、飛行機を待ちました。やがて、北の空から飛行機がやってきて玉小の上空を4回旋回しました。それに合わせて、色画用紙をかかげます。最後に飛行機が羽根を上下させ、うまく撮れたという合図をしてくれました。子どもたちも手を振って応えました。

航空写真はクリアファイルにして全員に配布する予定です。全校写真やクラス写真も撮ったので希望する方には後日販売する予定です。



子どもたちの活躍 ～委員会活動の紹介～

5, 6年生で行っている委員会活動をいくつか紹介します。

6月9日(金)の児童集会では代表委員さんが、先生たちに聞いた各学年のよいところ、がんばっているところを3つ発表してくれました。

1年生…①素直で正直 ②外で元気に遊ぶ ③そうじをがんばる

2年生…①素直でがんばりや ②よく運動する ③よく食べる

3年生…①あいさつがよくできる ②給食をよく食べる ③困っている子を助けられる

4年生…①給食をがっつり食べる ②明るくて元気 ③友だち思い

5年生…①協力できる②挑戦する③低学年のめんどうを見られる

6年生…①友だちのよいところを見つけられる ②元気でやさしい
③先生がいなくてももしっかりできる

玉小全体では…①素直 ②がんばる ③おもいやりがある

6月20日(火)には、スマイルフラワー運動を行いました。これは、花を持ってこられる人に持ってきてもらい学校に飾り、学校全体を明るくしようという運動です。たくさんの花が集まり、代表委員さんがペットボトル花瓶に分け、児童玄関や廊下などに飾ってくれました。

毎週火曜日の昼休みは「わくわくデー」として、体育委員さんから外遊びをしようと呼びかけています。6月20日は「全校わくわくデー」として、全校で鬼ごっこをしました。鬼にタッチされると、鬼になってしまうので、鬼がどんどん増えていきました。3回やりましたが、盛り上がっていました。とてもおもしろい企画でした。



実物のもつすばらしさ ～社会科見学～

3年生以上の教科である「社会」では、社会のしくみや成り立ち、自分とのかかわりについて学習します。教科書や資料で学習することが多いですが、実際に本物を見ることもあります。そうすることでより興味がわいたり、自分とのかかわりで捉えたりでき学習が深まります。

6年生では、観音山古墳と不動山古墳を見学しながら、県立歴史博物館に行きました。古墳を大きさや石室の様子を実感し、歴史博物館では国宝であるはにわの実物を見学しました。こんな近くに国宝となるはにわが出土した古墳があるとは驚きです。

4年生ではクリーンセンターの見学をしました。教科書の学習だけでなく、実際の施設やそこで働く人の話を聞けることで、ゴミ処理のしくみを理解するだけでなく、ごみを減らす行動に結びつけられるといいですね。

3年生は町のバスを借りて町内を巡り、施設や土地の利用の様子などを見学しました。実際の様子を地図上でも捉えられるようになるといいです。社会では、3年で町、4年で県、5年で日本 というように学習する範囲が広がっていきます。

